

スーパークラシック

SUPER CLASSIC ENSEMBLE

アンサンブル

第10回公演

～音楽が生まれる瞬間(とき)～



W. A. モーツァルト：
ディヴェルティメント 第1番 ニ長調 KV136

岡田加津子：
「MALTA」 ～弦楽アンサンブルのために～
(2026年新版)

B. ブリテン：
シンプル・シンフォニー 作品4

2026年4月5日 (日)

13:30開演 (12:45開場)

吹田メイシアター中ホール

全自由席 1,500円 (特別価格!)

※ 親子室がございます。未就学児の方はお問い合わせください。

特別企画!

京芸サンバ同好会顧問、岡田先生と楽しむ
「サンバ体験コーナー」
～一緒に舞台上がってもOK!～



岡田加津子

作曲家
京都市立芸術大学教授
京芸サンバ同好会顧問

※休憩後(第二部の最初)を予定しています。

※「ガンザ」をご用意ください。

〈手作りガンザの作り方〉

1. 蓋付きボトル缶を洗い、乾燥させる
2. 小豆・ビーズ・米などを1/4程度入れる
3. しっかりと蓋を閉じる

(百均などのマラカスでも代用可能です。)

主催/ 堀江ファミリーコンサート
お申し込み 080-2528-9937 (堀江) または、公式ライン→
(お問い合わせ) メイシアタープレイガイド (窓口販売のみ/9時～18時30分)



新進気鋭の弦楽器奏者による

スーパークラシックアンサンブル 第10回公演

関西で活躍する新進気鋭の弦楽器奏者を中心に構成されるスーパークラシックアンサンブルは、2021年に発足し、年2回のペースで演奏会を重ねております。

第10回となる今回のテーマは「音楽が生まれる瞬間(とき)」。この演奏会のために新しく書き直された「MALTA(2026新版)」を初演いたします。

京都市立芸術大学に在学中に岡田加津子教授の授業を受講していた当時の学生が、今回の出演者の約半数を占めるという素敵な縁も。岡田先生の作品は美しい旋律、色彩豊かな和声、そして魅力的なリズムを兼ね備えています。

「リズム」の大切さを生徒に伝えるため、年に1度ソルフェージュの授業で「サンバ実習」を行っていた岡田先生。

その再現となるのが今回の「サンバ体験コーナー」です。ぜひ手作りのガンザやマラカスを、持参いただき、お気軽にご参加ください。

その後には演奏する「シンプル・シンフォニー」では、作品の中に息づく「リズム」を感じながら聴いていただければと思います。

若き音楽家たちによる生命力あふれるはつらつとした演奏に、しばし心をゆだねて日常を忘れ、豊かなひとときをお過ごしいただければ幸いです。

音楽が生まれる瞬間 (とき)

2026. 4.5 (12:45開場) 13:30開演

吹田メシアター 中ホール



©阪急千里線吹田駅 徒歩2分 (梅田方面から吹田駅進行方向一番前の改札を出てすぐ)
©JR東海道本線吹田駅より徒歩15分 (吹田駅中央改札を出て、線路沿いに大阪方面に)
※お客様専用の駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。



岡田加津子(KAZUKO OKADA)
神戸生まれ。東京藝術大学作曲科卒業、同大学大学院音楽研究科修了。作曲活動の一方で、楽器を使わずに音楽する作品を多く制作。「ミニシアター」シリーズや「リズムミック・パフォーマンスII」など、打楽器コンサートや講習会において活用されている。
2003年ブロックザール賞受賞。2017年藤堂音楽賞受賞。1970年大阪万博のために作られたバシエ音響彫刻が、2015年京都市立芸術大学で修復される際に立ち会い、強い衝撃を受ける。それ以来、音響彫刻の保存と、それらを用いた新しい舞台創造、教育活動に情熱を注ぐ。現在、京都市立芸術大学教授、バシエ・セミナー主宰、京芸サンバ同好会顧問。
※やむを得ない事情により、出演者・演奏曲目の一部を予告なく変更する事があります。予めご了承ください。

次回公演
第11回 スーパークラシックアンサンブル特別演奏会
ライナー・キュツビル氏を迎えて
2026年7月19日(日) 14時開演(13:15開場)
吹田市文化会館 メシアター大ホール
A. ドヴォルザーク: ヴァイオリン協奏曲 イ短調 作品53、他
ソリスト / コンサートマスター: ライナー・キュツビル (ウィーン・フィルハーモニー元コンサートマスター)

